

九州国際大学 中期計画概要図

平成20年度～平成22年度

持続性のある確かな競争力の確立
中期目標：「地域に根ざした、北九州地域のトップ私大」としての魅力回復を目指した好循環の創出

2. 教育力の強化と授業の改善

- ① 「育てる教育」の重視
- ② 「本気で学ぶ意欲ある学生」の養成
- ③ 学科ごとの人材養成と資格目標を明確にしたカリキュラムの整備
スリム化と初年次および少人数教育を中心にステップアップ・システムの確立
- ④ 教養教育の見直し
- ⑤ 教育の「質」の保証、FD活動による教育方法・技術の向上
- ⑥ 修学・教育支援の改善・改革

3. 研究力の強化と外部資金の獲得

- ① 研究費の一律配分の見直し
- ② 外部の競争的研究資金獲得の促進と支援
- ③ 研究成果還元を奨励する制度の確立（間接経費の使途）
- ④ 研究活動の成果PR

4. 学生主体の大学生活支援で学生満足度を高める

- ① 学生満足度を高めるキャンパス・アメニティーの向上
- ② 「退学者4%以下」を目指す修学支援の充実（メンタル・ケア、モチベーション・サポート）
- ③ インフォーマルセクターの活性化（生活実態調査、満足度調査、サークル活動、体験活動、文化活動、ボランティア活動）
- ④ 適正で規律のある奨学金制度の確立
- ⑤ 学生間交流の支援（ゼミ連合大会、大学間交流）
- ⑥ 留学生政策の見直し

注) インフォーマルセクターとは
全体として無視できない規模ながら、公式の統計にも載らないような活動

7. 大学運営・経営の効率化

- ① PDCA（計画、実行、点検評価、改善）サイクルの確立 ⇒ 自己点検評価のルーチン化
- ② 教職員評価制度の導入
- ③ 教育組織の見直し（昼夜開講制）
- ④ 業務運営の改善・改革（SD活動の推進等）
- ⑤ 運営組織（事務組織、各種委員会など）の見直し
- ⑥ 計画的な人事政策の確立

1. 意欲ある学生の確保

- ① 「意欲ある学生」の確保を通じた定員充足の確立
- ② 地元、特に北九州エリアを中心とする意欲ある受験生の確実な確保
- ③ 生徒等受験生への直接的なアピール方法の見直し
- ④ 営業力のある募集組織の確立

出口の成果が入り口の水準向上に繋がる好循環の創出

6. 就職・進路支援の強化

- ① 「ニート0、就職率100%」をめざす
- ② インターシップの着実な実施（企業・行政との連携・ニーズ調査）
- ③ 学生に対する資格取得の支援（学内連携）
- ④ 積極的な企業開拓（行政の産業誘致など地方自治体の情報収集）
- ⑤ 既卒者とのネットワーク（同窓会との連携含む）

5. 大学の資源の活用と社会貢献

- ① 地域社会との連携（産学官民連携、商学連携、大学間連携コンソーシアム）
- ② 高大連携の積極的推進（付属校、学外）
- ③ 外部人材の登用による活性化（特任・客員教員）
- ④ 社会ニーズと人材育成にもとづく寄付講座の実施
- ⑤ 施設設備の地域開放促進（図書館、教室、ネットワークなど）

研究活動や地域貢献活動より得られた教育の質の向上

